

共生社会の実現をめざす舞台芸術鑑賞会



ワヤン・クリ とは?

インドネシアのバリ島とジャワ島にはワヤン・クリという影絵芝居があり、ユネスコの無形文化遺産として2009年に正式に登録されています。ワヤン・クリとは、インドネシアの影絵の総称で、バリでは古くから儀礼の場や庶民の娯楽として上演されてきた伝統芸能の一つです。人形を操る人をダランと言い、ワヤン・クリはダランひとりで操り語り歌い、物語は夜を徹して上演されます。上演スタイルはスクリーンに映し出される影と、ダランが操る側の両方から見ることができ、現地ではダラン側から見ることが好まれています。



2025年8月22日（金）午前の部10:30開演 午後の部13:30開演 （開場15分前）

SSフラザせんだい 多目的ホール

（川内駅コンベンションセンター）

主催：地域未来ネット・せんだい

後援：薩摩川内市教育委員会・薩摩川内市社会福祉協議会・薩摩川内市手をつなぐ育成会

■入場料

前売り券 1,300円(4歳以上) 当日券 500円増し

■チケットのお求めは

明屋書店・プラッセだいわ川内店

お問い合わせ 080-5200-6858(かけはし)



バンバンとトラ

トラになった少年の物語



この地球はだれのもの?

現在地球上では、様々な要因による環境破壊が急速に進行しています。この環境破壊により、われわれ人類が歴史上最悪の危機に瀕していることはみなさんもご存じのことだと思います。

さて、人類以外の生物はどうでしょうか。2014年公開のIUCN(国際自然保護連合)のレッドリスト(絶滅の恐れのある野生動物)には約2万種が記載されています。現在インドネシアのスマトラ島には、レッドリスト記載のトラの亜種スマトラ虎が400頭程しか残っていない絶滅寸前の状態にあります。同じインドネシアのジャワ虎、バリ虎は絶滅しました。その主な要因はバーム油や紙を生産するためのアブラヤシのプランテーション(植林)の拡大ですが、まだまだ密漁もあとをたちません。

このことが、スマトラ虎の生存をおびやかし、スマトラ島の野生生物の食物連鎖にも影響を与えています。さて、地球上の食物連鎖の頂点に立つ、われわれ人類の生き方とは…。

(WWF ジャパンホームページ参照)

森から
消える!?
絶滅危惧種の
動物たち



スマトラトラ

スマトラ島のみに生息。薬の原料とされる骨を狙った密漁で減少。

●現在の生存数400頭



スマトラオランウータン

人間による密漁と生息域の開発で減少。また若いオランウータンは密猟として殺されたり、違法に捕獲されてペットとして国外に売られることがあるという。

●現在の生存数6,600頭



スマトラサイ

人間による密漁と生息域の開発で減少。

ツノは漢方薬や薬剤用として珍重されてきた。

●現在の生存数400頭以下

劇団風の子九州

劇団風の子九州は、1985年創立の福岡市早良区西新に本拠を置く、児童・青少年演劇の専門職業劇団です。「子どものいるところ、どこへでも」を合言葉に、九州・沖縄各地で、子どもたちといっしょに考えて表現する、“参加型”的作品を上演してきました。

1990年から、アジア・環太平洋の国々の人たちとの交流も積極的にすすめてきました。これからも、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し、広げていきたいと思っています。

〒814-0002

福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13

TEL 092-841-7889 FAX 092-841-7896

<https://www.kazenoko-kyushu.com>



あらすじ

南に浮かぶ、小さな島の物語。少年バンバンはジャングルに近い場所で、田んぼを手伝いながらお父さん、お母さんと暮らしています。人里離れた場所に住むバンバンの友達は、家の周りやジャングルに住む生き物たち。だからバンバンは寂しくありません。ある日、お父さんはジャングルを案内する仕事に就きました。バンバンが忘れ物を届けに、お父さんのところへ向かっていると、一発の銃声が…!

その帰り道、バンバンが「ジャングルを歩いていると、誰かが後をついてきます。走り出すバンバンをまだ追ってきます。

「だれ!?」振り向いたバンバンは驚きました。それは、トラの子だったのです。仲良しになったトラの子とバンバン。進んでいるとスコールがやってきました。どしゃ降りの雨と雷が二人を襲います。その時、雷が二人に落ちてしまい…。バンバンはトラの中に入ってしまいました。トラになってしまったバンバンを待ち受けているのは…?



地域未来ネット・せんたい

地域未来ネット・せんたいは、演劇や演劇的手法を用いて地域の皆さまの世代間コミュニケーションをお手伝いさせていただいている団体です。14年前から毎年公演を主催し、障がいのある子どもや大人も思い思いに遠慮することなく、感動を表現できる公演として開催しております。

手をつなぐ育成会

「薩摩川内市手をつなぐ育成会」は、知的障がいのある我が子の幸せを求めて、親たちが手をとり合い社会の多くの方々と手をつなぐことを呼びかけてきました。

手をつなぐ育成会は全国的な組織に発展し、全国～九州～県～市町村とつながり、47都道府県20万人を超える会員数です。

語ってみませんか?

毎月第4土・日曜日 10時～14時 サンアビ研修室にて 連絡先 080-8382-5426(かわじ)